



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 株式会社 リョーサン

上場取引所 東

コード番号 8140 URL <https://www.ryosan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 稲葉 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経本部長 (氏名) 湯浅 英生

TEL 03-3862-2591

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

2022年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	167,731	35.0	9,007	119.8	6,587	62.3	4,475	53.8
2022年3月期第2四半期	124,247	27.8	4,097	227.2	4,059	142.3	2,909	95.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 8,179百万円 (194.9%) 2022年3月期第2四半期 2,773百万円 (108.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	191.02	
2022年3月期第2四半期	124.17	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	205,332	101,271	49.3	4,322.03
2022年3月期	190,548	94,724	49.7	4,043.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 101,271百万円 2022年3月期 94,724百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		50.00		70.00	120.00
2023年3月期		75.00			
2023年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.0	13,000	46.8	10,000	23.7	7,000	30.6	298.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	25,000,000 株	2022年3月期	25,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,568,443 株	2022年3月期	1,571,817 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	23,428,101 株	2022年3月期2Q	23,428,443 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 全体の概況

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和したものの、ウクライナ危機の長期化や中国で断続的に発生したロックダウンが原材料価格の上昇やサプライチェーンの混乱に拍車をかけた他、米国での政策金利の引き上げ等、下振れ懸念が強まりました。

わが国経済も持ち直しの動きが続いたものの、海外景気の下振れ懸念、供給面での制約や急激な円安の進行等に注視が必要な状況で推移しました。

また、当社が属するエレクトロニクス業界は、半導体や電子部品の供給制約に伴う生産活動への影響が続いた他、需要には濃淡が見られる等、先行き不透明感が高まりました。

このようなマクロ環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、自動車の生産調整等の影響を受けたものの、前広の商材確保で市場ニーズを取り込み、幅広い分野で販売が伸長したことに加え、円安の寄与等もあり、1,677億31百万円(前年同期比35.0%増)となりました。営業利益は増収効果と販売管理費の抑制運用の結果、90億7百万円(前年同期比119.8%増)となりました。

経常利益は外貨建負債等の評価替えによる為替差損計上等があったものの、65億87百万円(前年同期比62.3%増)。親会社株主に帰属する四半期純利益は44億75百万円(前年同期比53.8%増)となりました。

#### ② セグメントの業績概況

##### イ. デバイス事業

産業機器向け等の製品を中心に販売が増加したこと等により、売上高は1,462億71百万円(前年同期比33.4%増)、営業利益は82億78百万円(前年同期比139.0%増)となりました。

##### ロ. ソリューション事業

情報通信向け大型案件が寄与したこと等により、売上高は214億60百万円(前年同期比46.7%増)、営業利益は11億67百万円(前年同期比76.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて147億83百万円増加し、2,053億32百万円となりました。

また、純資産は、前連結会計年度末に比べ65億47百万円増加して1,012億71百万円となり、自己資本比率は49.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて18億43百万円増加し、138億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が65億88百万円あったことに加え、棚卸資産が43億57百万円、未収入金が32億7百万円それぞれ増加したため、売上債権が127億87百万円増加したものの、全体で20億11百万円の資金の増加となりました。なお前年同四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは51億34百万円の資金の減少でした。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出等により、全体で1億54百万円の資金の減少となりました。なお前年同四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは1億72百万円の資金の減少でした。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーが19億99百万円減少したことに加え、配当金の支払が16億34百万円あったため、短期借入金で34億62百万円増加したものの、全体で2億59百万円の資金の減少となりました。なお前年同四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは11億21百万円の資金の増加でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月25日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,066	13,918
受取手形及び売掛金	92,574	109,041
棚卸資産	52,647	51,105
未収入金	18,721	16,974
その他	1,094	1,057
貸倒引当金	△276	△626
流動資産合計	176,827	191,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,563	2,526
土地	5,178	5,180
リース資産(純額)	394	349
その他(純額)	201	207
有形固定資産合計	8,338	8,264
無形固定資産		
無形固定資産	985	1,079
投資その他の資産		
投資有価証券	3,001	3,021
繰延税金資産	295	365
その他	1,206	1,248
貸倒引当金	△106	△118
投資その他の資産合計	4,397	4,517
固定資産合計	13,720	13,861
資産合計	190,548	205,332

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,976	44,301
短期借入金	38,079	46,958
コマーシャル・ペーパー	4,999	2,999
リース債務	224	184
未払金	3,469	3,488
未払費用	1,930	873
未払法人税等	1,798	2,115
賞与引当金	—	712
その他	391	386
流動負債合計	93,869	102,020
固定負債		
リース債務	202	190
繰延税金負債	597	835
退職給付に係る負債	1,068	924
資産除去債務	23	23
その他	62	64
固定負債合計	1,953	2,039
負債合計	95,823	104,060
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,690	17,690
資本剰余金	19,114	19,060
利益剰余金	59,586	62,422
自己株式	△6,534	△6,473
株主資本合計	89,857	92,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,257	1,239
繰延ヘッジ損益	1	△1
為替換算調整勘定	3,634	7,362
退職給付に係る調整累計額	△25	△29
その他の包括利益累計額合計	4,867	8,571
純資産合計	94,724	101,271
負債純資産合計	190,548	205,332

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	124,247	167,731
売上原価	112,621	150,158
売上総利益	11,625	17,573
販売費及び一般管理費	7,528	8,565
営業利益	4,097	9,007
営業外収益		
受取利息	18	14
受取配当金	37	40
持分法による投資利益	—	26
受取手数料	13	145
受取賃貸料	27	24
雑収入	45	116
営業外収益合計	142	367
営業外費用		
支払利息	76	388
為替差損	4	2,387
持分法による投資損失	86	—
雑損失	13	11
営業外費用合計	180	2,787
経常利益	4,059	6,587
特別利益		
固定資産売却益	—	0
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	1	0
特別損失		
減損損失	19	—
特別損失合計	19	—
税金等調整前四半期純利益	4,041	6,588
法人税等	1,132	2,113
四半期純利益	2,909	4,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,909	4,475



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,909	4,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85	△17
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△44	3,727
退職給付に係る調整額	△6	△3
その他の包括利益合計	△135	3,704
四半期包括利益	2,773	8,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,773	8,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,041	6,588
減価償却費	319	305
減損損失	19	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73	307
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△144	△156
受取利息及び受取配当金	△56	△54
支払利息	76	388
持分法による投資損益(△は益)	86	△26
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△239	△12,787
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,292	4,357
仕入債務の増減額(△は減少)	3,081	△1,318
未収入金の増減額(△は増加)	△72	3,207
その他	2	3,170
小計	△4,250	3,980
利息及び配当金の受取額	55	54
利息の支払額	△77	△363
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△861	△1,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,134	2,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△79	△26
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△31	△113
投資有価証券の取得による支出	△15	△15
定期預金の増減額(△は増加)	48	—
定期預金の預入による支出	—	△8
会員権の売却による収入	3	—
投資事業組合からの分配による収入	4	8
保険積立金の積立による支出	△102	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△172	△154
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	—	△1,999
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,851	3,462
リース債務の返済による支出	△92	△82
自己株式の取得による支出	△0	△68
配当金の支払額	△1,637	△1,634
自己株式の売却による収入	—	63
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,121	△259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,239	1,843
現金及び現金同等物の期首残高	20,636	12,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,396	13,860

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	109,617	14,629	124,247	—	124,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	109,617	14,629	124,247	—	124,247
セグメント利益	3,463	662	4,126	△28	4,097

(注) 1 セグメント利益の調整額△28百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	146,271	21,460	167,731	—	167,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	146,271	21,460	167,731	—	167,731
セグメント利益	8,278	1,167	9,446	△438	9,007

(注) 1 セグメント利益の調整額△438百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 所在地別セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	67,273	51,685	5,288	124,247	—	124,247
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,957	200	14	11,172	△11,172	—
計	78,230	51,886	5,303	135,420	△11,172	124,247
セグメント利益	1,759	2,088	118	3,966	131	4,097

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域  
アジア……………香港・中国・タイ・韓国等  
その他……………米国等

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	その他	計	消去又は全社	連結
売上高						
外部顧客に対する売上高	87,315	75,063	5,352	167,731	—	167,731
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,833	357	31	10,222	△10,222	—
計	97,148	75,421	5,383	177,953	△10,222	167,731
セグメント利益	4,882	3,534	281	8,699	308	9,007

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域  
アジア……………香港・中国・タイ・シンガポール等  
その他……………米国等

III 地域ごとの売上高に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	63,407	33,438	21,716	5,685	124,247
連結売上高に占める割合(%)	51.0	26.9	17.5	4.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	中国	アジア	その他	連結
売上高	85,602	45,577	31,018	5,533	167,731
連結売上高に占める割合(%)	51.0	27.2	18.5	3.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。